

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔18〕東京都台東区立特別養護老人ホーム台東					
指定管理者の名称	社会福祉法人聖風会	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	第一種社会福祉事業・・・特別養護老人ホーム(6)、軽費老人ホーム(1) 第二種社会福祉事業・・・高齢者在宅サービスセンター(9)、短期入所(6)他					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム5施設					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) 歳入4,572,686,669円 歳出4,520,288,789円 収支差額52,397,880円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区台東1-25-5					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 21,236.85㎡のうち4,609.20㎡ 鉄筋コンクリート造地上14階地下2階のうち4・5階部分 居室、個室、食堂、浴室、クリーンルーム、医務・看護室など					
(6)人員体制	49名 内訳...施設長(常勤1)、事務員(常勤2、非常勤1)、介護職員(常勤23、非常勤15)、介護支援専門員(常勤1)、看護職員(常勤2、非常勤1)、相談員(常勤1)、管理栄養士(常勤1)、機能訓練指導員(常勤1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	37,665,000	38,135,356	37,931,910	39,397,050	37,048,000
	利用料金収入	236,178,000	255,779,000	241,524,000	244,736,000	250,624,000
	その他収入	30,968,000	24,110,644	27,906,090	20,512,950	16,329,000
	管理経費	304,811,000	318,025,000	307,362,000	304,646,000	304,001,000
決算	委託料	37,665,000	38,072,355	37,927,710	39,395,265	37,048,000
	利用料金収入	248,548,690	242,482,434	228,338,878	248,352,296	252,005,489
	その他収入	10,789,421	36,873,984	26,440,998	15,558,024	1,715,583
	管理経費	292,977,008	285,768,366	283,774,703	277,871,635	279,150,460
	収支	4,026,103	31,660,407	8,932,883	25,433,950	11,618,612
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
入所定員(ショートステイ含む)	人	60	60	60	60	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用率(特養+ショート)	%	98.0	95.8	96.2	96.7	
利用者数(特養+ショート)	人	21,500	21,042	21,067	21,185	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

苦情や要望の受付にあたっては、苦情対応規程の整備により責任体制を明確化するとともに、匿名性を担保するための意見箱の設置や学識経験者等で構成される第三者委員会へ直接申し出る方法など、複数の窓口を設けている。また、利用者の要望に適切に対応するため、あらためて法人の「運営理念」、「行動指針」を職員に周知徹底した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	介護福祉士の資格を有する看護職員を多数配置している。また、全国高齢者ケア研究会開発の「総合記録シート」を法人統一の書式として利用し、利用者状況を的確に把握するよう努めている。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に行われている。
(3)利用者の満足度	A	利用率、利用者数ともに増加しており、満足度調査の評価も概ね高い。近隣の児童館や保育園と定期的に交流を行うなど、地域との連携も図られている。
(4)収入支出	A	適正な予算管理、予算執行がなされている。利用率の増加が、利用料金収入の増加につながっている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

施設の管理運営は適切に行われており、利用者の要望に適切に対応するための取組みを充実させた。介護福祉士の有資格者の配置、「総合記録シート」の導入等、サービスの向上に努めた結果、利用率、利用者数ともに増加した。

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

施設の管理運営は適切に行われており、今後もより良いサービスの提供に努めるとともに、利用率の維持に努めていく。